第　2　部

教員養成系大学・学部生の生活技能について

第２章　４年生の生活技能

※　グラフに用いたデータは長崎大学のみであり、グラフおよび本文中の１年生、４年生の表記は以下のとおりである。

１年生　→　長崎大学教育学部１年生
４年生　→　長崎大学教育学部４年生

１．生活一般に関する技能

１－１．生活一般に関する技能の学年別習得状況

1 年生に比べ、4 年生の方が「よくできる」「まあまあできる」の割合が高く、特に野外活動等に関する技能は軒並み 1 割以上高い。また、その他の技能でも全体的に高く、大学生活 4 年間での習得と考えられる。

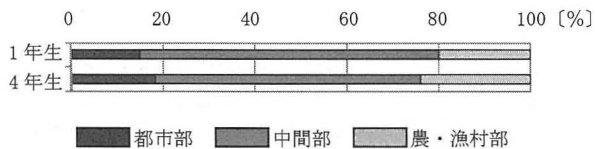
さらに「したことがない」も減少しており、多くの技能を新たに経験したことも分かる。

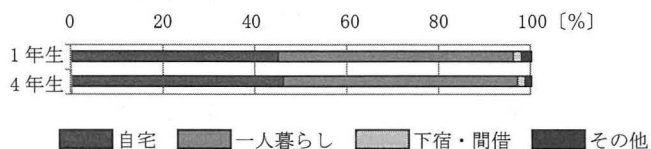
増加・減少が目立った技能項目

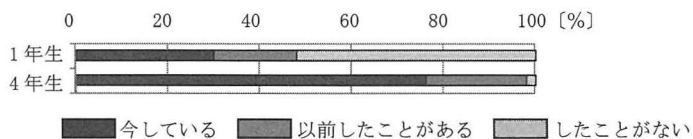
「よくできる」が 10%以上増加した項目 電球・蛍光灯の取替え（19.1%）　鉛筆を正しく持つ（13.1%）　地図の理解（13.1%） 飯ごうでの炊飯（12.7%）　マッチで火をつける（12.6%）　炭や薪の火の管理（12.0%）
「よくできる」が 5%以上増加した項目 電球・蛍光灯の取替え（19.1%）　鉛筆を正しく持つ（13.1%）　地図の理解（13.1%） 飯ごうでの炊飯（12.7%）　マッチで火をつける（12.6%）　炭や薪の火の管理（12.0%） コピー機の使用（9.8%）　テントを張る（7.5%）　AV 機器の接続配線（7.5%） リボン結び（6.0%）
「したことがない」が 10%以上減少した項目 炭や薪の火の管理（11.8%）　AV 機器の接続配線（10.2%）　飯ごうでの炊飯（10.1%）
「したことがない」が 5%以上減少した項目 炭や薪の火の管理（11.8%）　AV 機器の接続配線（10.2%）　飯ごうでの炊飯（10.1%） 電球・蛍光灯の取替え（9.4%）　役所等での手続き（6.7%）

※（　　）内は増加・減少率

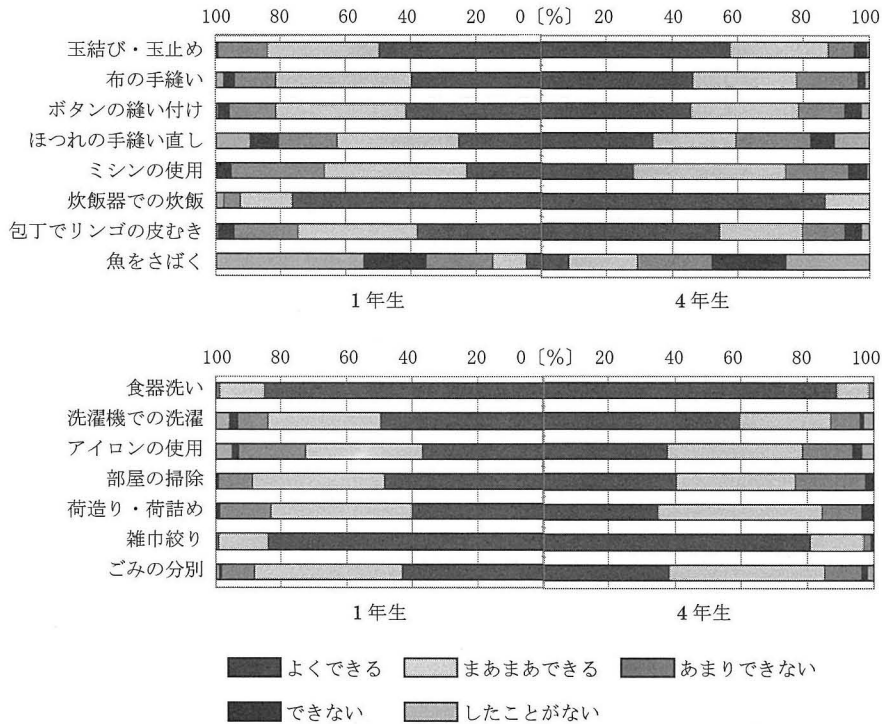
１－２．生活一般に関する技能の関連設問

（１）高校までの生活環境

学年によって、大きな差は見られない。

（２）現在の生活状況

学年によって、大きな差は見られない。

（３）アルバイトなどの就業体験

1年生に比べ、4年生の方がアルバイト経験が多い。今現在アルバイトをしている学生は8割近くに上る。また以前したことがあるを含めると、ほとんどの学生がアルバイトを経験している。

2．調理・裁縫／掃除・整理整頓に関する技能

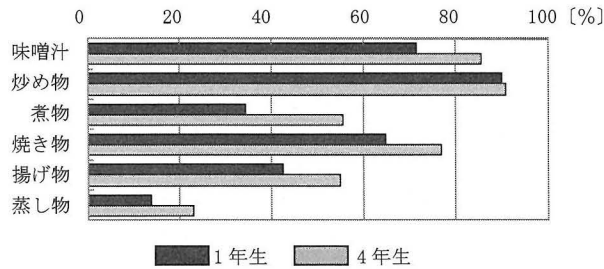
2－1．調理・裁縫／掃除・整理整頓に関する技能の学年別習得状況

「洗濯機での洗濯」や「炊飯器での炊飯」など実際に家庭生活で必要な技能であることもあり、全体的に１年生よりもできる傾向にある。また特に「魚をさばく」ことを２割近くの学生が新たに経験していることが分かる。

増加・減少が目立った技能項目

「よくできる」が10%以上増加した項目 包丁でリンゴの皮むき（16.3%）　洗濯機での洗濯（10.6%）　炊飯器での炊飯（10.1%）
「よくできる」が5%以上増加した項目 包丁でリンゴの皮むき（16.3%）　洗濯機での洗濯（10.6%）　炊飯器での炊飯（10.1%） ほつれの手縫い直し（8.6%）　玉結び・玉止め（8.4%）　布の手縫い（6.5%） ミシンの使用（5.3%）
「したことがない」が10%以上減少した項目 魚をさばく（19.8%）
「したことがない」が5%以上減少した項目 魚をさばく（19.8%）

※（　　）内は増加・減少率

2－2．調理・裁縫／掃除・整理整頓に関する技能の関連設問

（1）一人で調理できる料理

全体的に4年生の方が1割以上高い。しかし炒め物についてはほとんど差がない。

中学の頃好きだった教科は？

60
40
20
0
〔%〕
国語　社会　数学　理科　音楽　美術　体育　技術　家庭　英語

男子学生

60
40
20
0
〔%〕
国語　社会　数学　理科　音楽　美術　体育　技術　家庭　英語

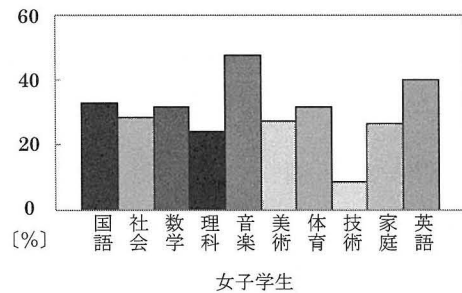
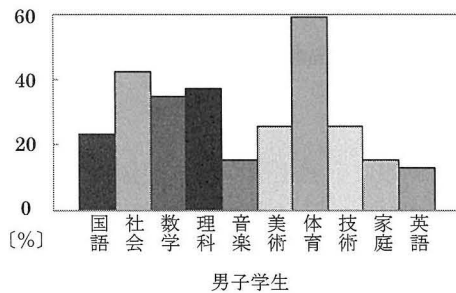
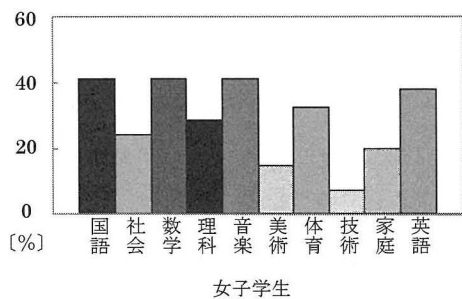
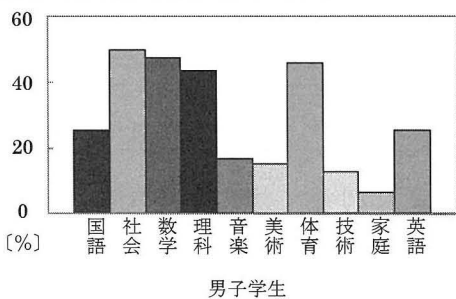
女子学生

中学の頃得意だった教科は？

60
40
20
0
〔%〕
国語　社会　数学　理科　音楽　美術　体育　技術　家庭　英語

男子学生

60
40
20
0
〔%〕
国語　社会　数学　理科　音楽　美術　体育　技術　家庭　英語

女子学生

上位3教科を選択してもらった結果、1年生と同様「好き＝得意」な傾向にある。また男女ともに，音楽，美術などの副教科は「得意ではないが好き」，国語，社会，数学，理科，英語の主要教科「好きではないが得意」という傾向にあるようだ。

３．工作・栽培に関する技能

３－１．工作・栽培に関する技能の学年別習得状況

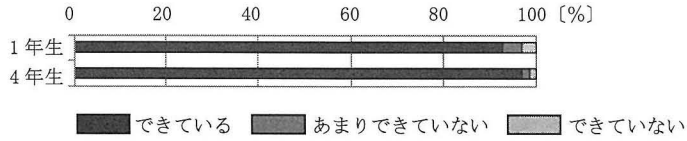
全体的に 4 年生の方ができる傾向にあるが、特にカッターやのこぎりなど刃物の利用ができる割合が高い。

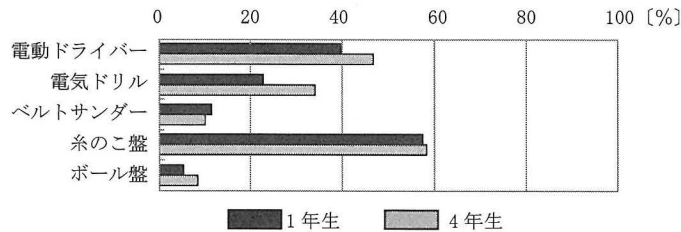
増加・減少が目立った技能項目

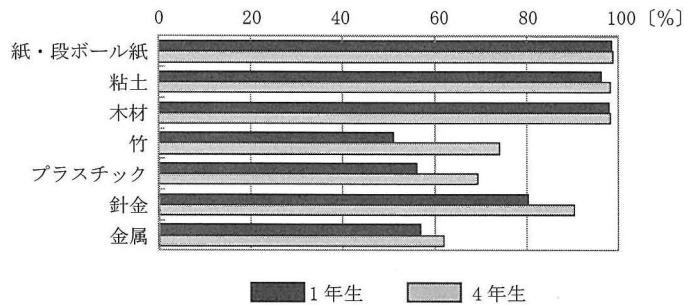
「よくできる」が 10%以上増加した項目 三角定規での平行線描画（15.7%）　カッターでの鉛筆削り（13.8%） カッターでの切断（12.6%）　鋸での木材切断（11.0%）
「よくできる」が 5%以上増加した項目 三角定規での平行線描画（15.7%）　カッターでの鉛筆削り（13.8%） カッターでの切断（12.6%）　鋸での木材切断（11.0%）　はさみでの切断（6.2%） 金槌での釘打ち（5.6%）　折り紙での折鶴（5.5%）
「したことがない」が 10%以上減少した項目 砥石での刃物とぎ（13.4%）
「したことがない」が 5%以上減少した項目 砥石での刃物とぎ（13.4%）　カッターでの鉛筆削り（9.1%）　電気回路の配線（6.6%） 土の耕し（6.3%）

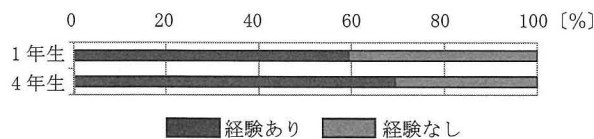
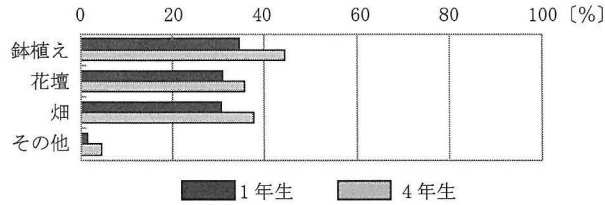
※（　　）内は増加・減少率

3－2．工作・栽培に関する技能の関連設問

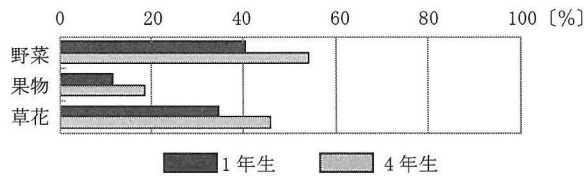
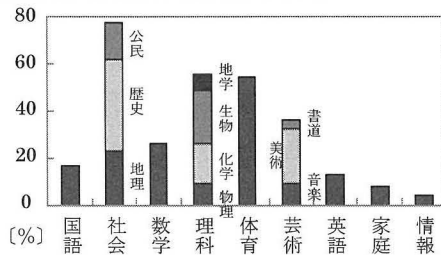
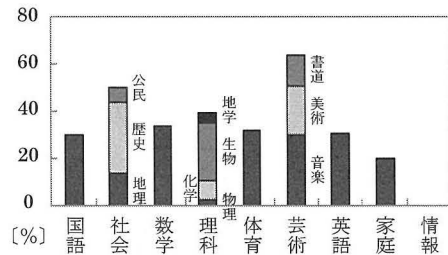
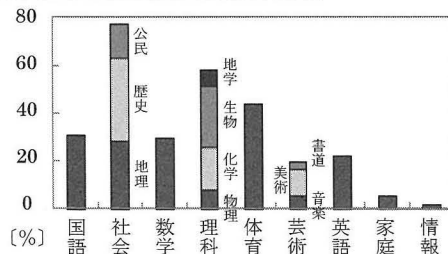
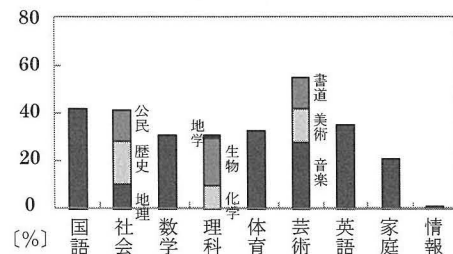
（1）立方体の描画

若干ではあるが、4年生の方がよくできている。

（2）使用できる電動工具

電動ドライバー、電気ドリル、ボール盤などの電動工具は 4 年生の方がわずかであるが高い。ベルトサンダーやボール盤などはほとんど差が見られない。

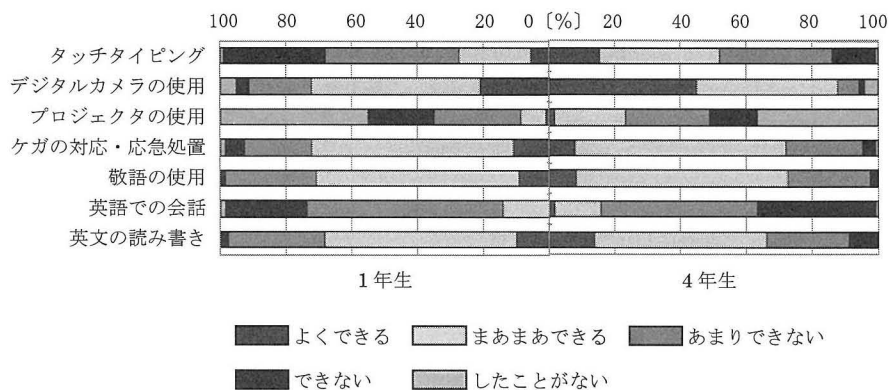
（3）工作で使用したことがある材料

紙・段ボール、粘土、木材、金属などは学年によってほとんど差がないが、竹、プラスチック、針金などは4年生の方が1割以上多い。特に竹は4年生の方が使用経験が多い。

（4）学校以外での栽培経験

わずかであるが、4年生の方が栽培経験が多い。

（5）学校以外での栽培時の栽培形態

全体的に4年生の方が多くの栽培形態を経験している。

（6）学校以外での栽培時に栽培したもの

栽培したものに関しては、共に野菜、草花、果物の順で学年による変化はない。

上位3教科を選択してもらった結果、中学の頃同様「好き＝得意」な傾向にあり、ほとんど同じ形のグラフである。情報が低いが、新教科として移行途中であり履修していない学生がいるためと思われる。また物理が得意な女子学生はいない。

４．ICT 活用・その他に関する技能

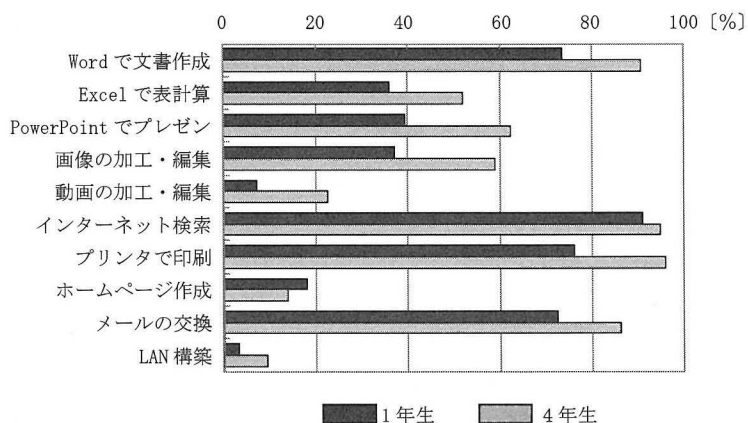
４－１．ICT 活用・その他に関する技能の学年別習得状況

４年生の方が「デジタルカメラの使用」のできる割合が非常に高い。また、「タッチタイピング」も高いほか、「プロジェクタの使用」について経験が増えていることから、ICT 機器の活用が行われていることが分かる。

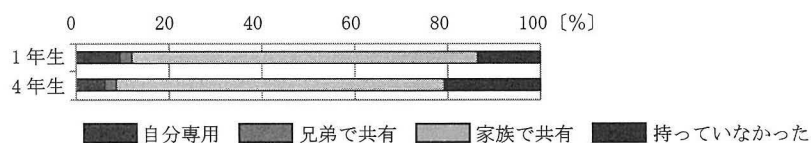
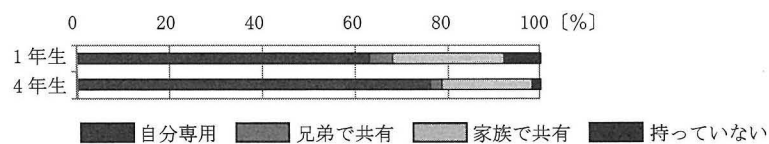
増加・減少が目立った技能項目

「よくできる」が 10%以上増加した項目 デジタルカメラの使用（24.2%）　タッチタイピング（10.2%）
「よくできる」が 5%以上増加した項目 デジタルカメラの使用（24.2%）　タッチタイピング（10.2%）
「したことがない」が 10%以上減少した項目
「したことがない」が 5%以上減少した項目 プロジェクタの使用（8.4%）

※（　　）内は増加・減少率

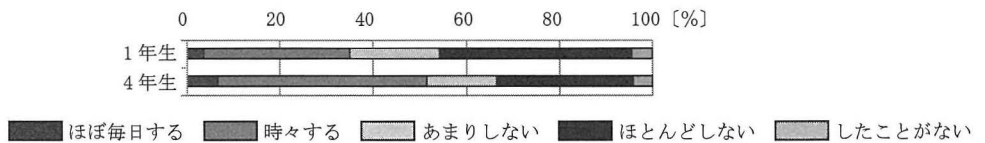
4－2．ICT 活用・その他に関する技能の関連設問

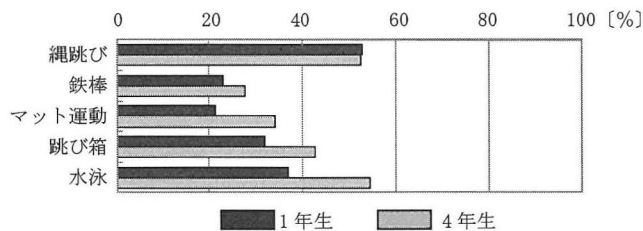
（1）コンピュータ活用技能

ホームページ作成を除き、全体的に 4 年生の方がよく使えている。授業内外での活用やレポート作成などが関与すると思われる。

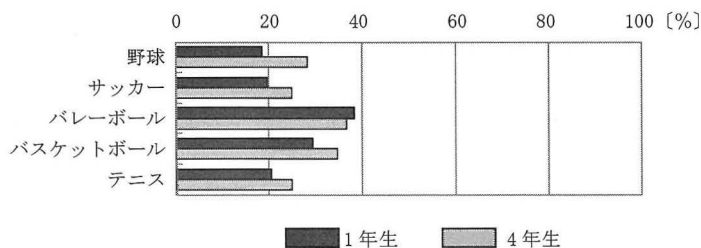
（2）大学入学前後のパソコン所持状況

入学前は 1 年生より 4 年生の方がパソコンの所持率が低かった。4 年間でパソコンの低価格化などが進み、普及したためだと思われる。

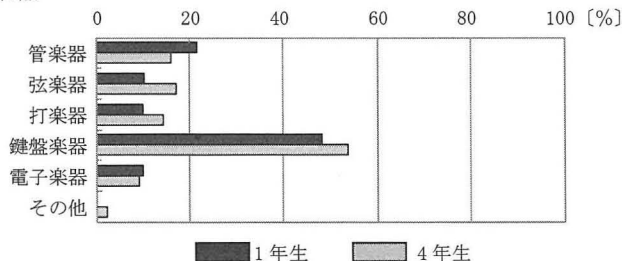
入学後の現在では、レポート作成等の必要性からか 4 年生の方が所持率が高い結果となった。

5．その他・生活習慣等の関連設問

（1）コンピュータゲームの頻度

「したことがない」が変化ないことから、ゲームをする学生の割合は変化していないようだが、その頻度が増えており4年生の方がよくゲームをしている。

（2）得意な運動

縄跳びはほとんど差がないが、その他の運動は4年生の方が得意なようだ。

（3）得意な球技

バレーボールはほとんど差がないが、その他の球技は4年生の方が得意なようだ。

（4）演奏できる楽器

管楽器は1年生の方が高い傾向にあるが、その他の楽器は比較的4年生の方が高い。